本邦南方海域で観察された オオミズナギドリその他について

五月女雄二郎*

東京水産大学練習船青鷹丸(G. T. 220 吨)は昭和42年の夏季(7~9月)と昭和43年の春季(3~4月)の2季にわたり、ほぼ同航路上で海洋観測と鮪延縄漁業実習を行なった。この期間海鳥観察を行なったので、その結果をここに報告する。

なお、Fig. 1—1, 2—1 はそれぞれ夏季及び春季の青鷹丸の航跡図を示し、はそれぞれ当時(毎日正午における)の風向、風力、天気を示してある。

観 察 の 概 要

同航海中日出から日没まで船橋(眼高5米)位可視範囲内(半径約4哩)の海鳥について種類別に目視観察を行ない計数した。原則として、観察時間は06時から始まり、隔時正時06時、07時……、とし、大群形成を発見した場合には、その都度計数を行なった。計数の正確度を増すために、観察時に2度計数し両者の平均をとった。遠方を飛翔しているものの種の判別には正確をきするため双眼鏡(日本光学製7倍率)を使用した。

Table 1, 2 はそれぞれ夏季および春季の航海において観察された海鳥について、種類別に、日別に集計したものである。

位置は原則として正午位置を示し、*印を付したものは正午位置以外の位置で、観察時の中央に対応するものを示している。気温および表面水温も付記されている。

Fig. 1—4, 1—5, 2—3, 2—4 はそれぞれの期間中に得られた資料に基づいてかかれた気温図および表面水温図を示している。これらには海上保安庁水路部刊行の海洋速報の資料も加味されている。

Fig. 1—6, 2—5 は日別、種別毎の海鳥の出現密度および伊豆諸島、南方洋上、九州南西域のごとく、海域を大別した場合の海鳥の出現密度をそれぞれの航海時について求めたものである。

観測結果および考察

(1) オオミズナギドリ Streaked shearwater *Calonectris leucomelas*

観察結果によれば伊豆諸島附近では飛翔中の本種が多く、島嶼を離れるに従い姿を消し、南西諸島や九州沿岸に近づくと再び姿を現わした。一般的に本種は距岸距離が近くなるに比例し数を増す傾向を示した。紀南海域では上述のことがらを支持する結果が得られていないが、そのことは主として観察時刻によるものと考えられる。すなわち夏季の観察が日出後 2~3 時間

* 東京水産大学教官兼青鷹丸一等航海士 東京都港区港南4の5の7

経過し、すでに餌を求めて洋上へ飛び立った後であり、また春季の観察は日没時で本種が洋上からの帰巢行動中であつたために観察数も異なつたのであろう。本種は餌となる小魚等を追つて移動するとされているが、洋上遙かの遠方では姿を認められず、距岸100哩以内に多いのは、日没時頃帰巢の出来る範囲内を生活圏としているためと考えられる。時として大きな集団で洋上で翼を休めていたのに遭遇したがその場所は小魚等が多く集まる収束線（潮目）附近にあつてゐた。また観察結果は本種の北西太平洋での分布、南限は少なくとも夏季および春季の観察から北緯30度付近にあるのではないかという推論を与えている。

一般に海鳥の分布は魚群の集群と関連があるため、漁業上海鳥観察は重要視されている。青鷹丸も夏季および春季に北緯31度、東経139度の海域で鮪延縄の試験漁業を行なつた。

操業の結果では昭和42年夏季の際は漁獲は全く無く、昭和43年春季には鰆長鮪（Albacore）を20尾漁獲した。一方図や表にみられるように、本種の出現状態も、上述の漁獲結果と全く対応してゐて夏季に同海域では観察数零であつたが、春季は20羽以上飛翔しているのを観察している。このことは鳥付魚群（トリツキナムラ）といわれ、海鳥の多数乱舞している下に小型魚の群があり、その下に小型魚を餌としている大型魚の群があると云われている一般的な漁場探知の知識を支持するものかも知れない。

海鳥の分布移動などの観察を拡充すれば水産資源の把握と漁業の発展に寄与するものと考えられる。また海鳥の渡りの状態、日周移動など不明な点多く、今後研究調査すべきであると考えられる。

スミス島附近は漁場をなしており、小型漁船が同島の西側に仮泊することが多いし、筆者は40屯級の船が仮泊しているのを目撃しているし、クロアジサシも投石のために傷付けられた様子であつた。

Fig. 1—2, 2—2 には、それぞれ夏季および春季におけるオオミズナギドリ、オナガミズナギドリおよびアカアシミズナギドリの分布を量的に示した。

(2) オナガミズナギドリ Wedge-tailed shearwater *Puffinus pacificus*

夏季観察時に、少数ではあつたが本種と、オオミズナギドリとの混飛が観察されたが春季には全くみられなかった。本種は日本海域に姿を現わすのが稀といわれているが春季の場合も九州沖合に限られ3羽と少数であつた。

(3) アカアシミズナギドリ Pink-footed shearwater *Puffinus carneipes*

春季に 29°N, 135°E 附近の洋上を単独で飛翔しているのを2日にわたり4羽観察した。

(4) アナドリ Bulwer's petrel *Bulweria bulwerii*

洋上遙か少数で飛翔している例が多く、春季には伊豆大島沖合と 29°N, 135°E 附近の洋上に小群を形成しているのを観察した。

Fig. 1—2, 2—2 はそれぞれ夏季および春季の分布を量的に示してある。

(5) アジサシ類 *Sterna* Sp.

スミス島周辺にはセグロアジサシ *Sterna fuscata*、マミジロアジサシ *Sterna anaethetus* とクロアジサシ *Anous stolidus* が多数混飛しており、特に島頂部と島の東側の中腹に多数群棲しているのを観察した。しかし同島から5哩離れた位置では観察数零であつた。なお以前筆者が行なつた観察結果があるのでここに掲示しておきたい。

1) 昭和41年7月18日ゴムボートを使用してスミス島に上陸した際傷付いた頻死のクロアジサシ1羽を同東南東岸の石の間で発見拾得したが離島の際流失してしまった。この際同島が蕃殖地の1つである

ことが判明した。

2) 昭和36年7月に本学練習船海鷹丸(G. T. 1542 吨)で孀婦岩附近を航行中、同島にもこの種らしいものを多数見たが遠方のため種の判別は出来なかった。

春季航海では夜間であったので観察不可能であった。

Fig. 1—3 は夏季の分布を量的に示す。

(6) カツオドリ Brown booby *Sula leucogaster*

スミス島の本種については小沢敬次郎、五月女雄二郎の報告があるが、春季は同島附近の航行が夜間であったので観察不可能であった。

摘 要

- (1) 昭和42年夏および43年春の両季ともに航路附近でのオオミズナギドリの観察数が出現全海鳥数の70%および80%の高率を示している。
- (2) オオミズナギドリは島嶼を含む陸地の近くに多く分布し、岸を離れると共にその数を減ずる。
- (3) オオミズナギドリの分布南限は北緯30°附近にあるらしい。
- (4) オオミズナギドリの分布は漁場発見の好導標となっている事が試験漁業の結果、うらづけされた。

**Steaked shearwaters observed on the seas south of Japan,
with notes on other species**

Yujiro Saotome

This report is based on the observations in the sea region south of Japan (Fig. 1—1; 2—1) from “Seiyo-maru” (the training and research ship belonging to the Tokyo University of Fisheries) in the midsummer (July to August) of 1967 and the spring (March to April) of 1968. As a result, the followings are summarized: a) Flying Streaked shearwaters were generally observed within the range of about 100 nautical miles from land, and offshore it decreased in number.

Exceptionally, it was remarkable that over 40 Streaked shearwaters were observed at about lat. 31°N, long. 139°E, just where the long-line fishing was being operated.

b) The floating Streaked shearwaters were very often observed along the current-rips.

c) The observations from the Seiyo-maru's cruises suggest that the Streaked shearwater has a southern limit of its distribution range in lat. 30°N. in the northwest Pacific Ocean.

d) Other tropical and subtropical species such as Wedge-tailed shearwater, Pink-footed shearwater, Bulwer's petrel, Brown noddy and Nordmann's tern were also observed in these regions.

*Chief officer of Seiyo-maru, Tokyo University of Fisheries,
Konan, Minato-ku, Tokyo*

Table 1. Data of daily observation of sea birds in 1967

Date	Position		Temp. (°C)		Species								Total
	Lat. (N)	Long. (E)	Air	Sea	A	B	C	D	E	F	G	H	
7—17	*34—20.2	139—29.0	27.8	25.9	24								24
18	33—32.5	140—17.0	28.8	28.2	75								75
26	34—57.8	139—37.7	27.7	27.0	153						6		159
30	32—55.4	139—15.2	28.2	29.4	30		4	2					36
31	31—26.0	140—01.5	26.9	27.7	2		2		8	59			71
8— 1	31—04.2	139—20.8	28.4	28.5		2	2						4
2	30—41.2	138—12.0	27.8	28.0	1	3	8						12
3	30—08.9	136—35.9	29.1	28.3		24	6						30
4	30—00.2	134—54.3	28.5	28.1									0
5	29—52.0	133—14.0	27.7	28.6			1						1
6	30—37.0	132—05.5	30.6	29.3	51	3	1						55
7	*31—18.1	131—08.7	30.5	29.2	50								50
8	*31—40.0	131—33.2	27.1	28.2	7						3	2	12
8—20	*33—38.5	136—03.5	26.0	26.8	10						50		60
21	34—37.0	139—23.4	23.1	23.9	60			5					65
Total					463	32	24	7	8	59	59	2	
Grand total													654

Remarks: Noon positions were shown except those with *, where the positions were recorded at about middle time during daily observations.

Table 2. Data of daily observation of sea birds in 1968

Date	Position		Temp. (°C)		Species								Total
	Lat. (N)	Long. (E)	Air	Sea	A	B(?)	C	D	E	F			
3—27	*34—49.5	139—43.8	10.6	14.6	74		22						96
28	*32—41.1	139—35.8	14.3	19.1	10								10
29	31—04.0	138—58.0	17.2	18.5	76								76
30	30—46.5	137—04.0	17.2	19.2	8		1						9
31	30—01.0	136—29.0	18.6	18.8	4		26						30
4— 1	28—43.7	134—45.2	19.1	19.7			35	3					38
2	27—46.8	132—11.6	20.1	20.4				1					1
3	27—54.0	130—14.3	20.1	19.8									0
7	*29—00.0	129—17.0	19.1	20.2	24								24
10	*31—35.4	130—10.1	17.6	18.0	8								8
11	*31—23.1	131—33.2	14.7	17.9	139				1				140
12	32—49.0	135—07.0	14.7	21.3	143	5							148
13	34—11.8	136—41.4	13.0	15.8	86								86
14	34—53.3	139—17.7	12.6	15.9	13					3			16
Total					585	5	84	4	1	3			
Grand total													682

Remarks: Noon positions were shown except those with *, where the positions were recorded at about middle time during daily observations.

Fig. 1. Maps show cruise track, meteorological condition (Fig. 1—1), oceanographic data (Fig. 1—4, 5) and distribution of sea birds (Fig. 1—2, 1—3, 1—6) observed

Fig. 1—1

Fig. 1—2

Fig. 1—3

Fig. 1—4

Fig. 1—5

Fig. 1—6

Fig. 2. Maps show cruise track, meteorological condition (Fig. 2—1), oceanographic data (Fig. 2—3, 2—4) and distribution of sea birds (Fig. 2—2, 2—5) observed

Fig. 2—1

Fig. 2—2

Fig. 2-3

Fig. 2-4